

柏原市立歴史資料館等運営協議会

資 料

日 時 平成 2 4 年 5 月 1 6 日 (水)

午後 2 時 ~ 4 時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

目 次

1	平成23年度事業報告	
(1)	歴史資料館関係	1
(2)	横穴管理運営関係	19
2	平成24年度事業計画	
(1)	歴史資料館関係	20
(2)	横穴管理運営関係	23
3	その他	
(1)	周辺館へのアンケート結果について	24
(2)	有料化に対する来館者アンケート結果について	25

資料

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿
柏原市立歴史資料館等運営協議会設置要綱
柏原市立歴史資料館等運営協議会の会議についての内規
史跡高井田横穴公園内樹木等伐採剪定等実施基準
歴史資料館等運営についてのアンケート結果

1 平成23年度事業報告

(1) 歴史資料館関係

(ア)【常設展】

- a. 大和川付け替えの展示コーナーを3か月毎に展示替え。
- b. 奈良時代の展示コーナーに「まじないの道具」パネル設置。(1月)
- c. 「大坂夏の陣」のパネル設置。ぶどうのコーナーに「堅下ぶどうのはじまり」「ぶどうの歴史」のパネルと、明治のぶどう園の写真パネル設置。(3月)

(イ)【企画展】

例年どおり、年4回の企画展を開催。

- a. 「柏原ぶどう物語」(平成22年度事業)
平成23年3月26日～6月19日
観覧者数 2,236名(個人 1,907名、団体 329名)
- b. 「赤馬伝説」
平成23年7月9日～9月4日
観覧者数 1,727名(個人 1,588名、団体 139名)
- c. 「大和川の風景」
平成23年9月20日～12月11日
観覧者数 11,305名(個人 1,978名、団体 9,327名)
- d. 「ちょっと昔の道具たち～あかり～」
平成24年1月7日～3月4日
観覧者数 2,013名(個人 1,978名、団体 893名)
- e. 「中家文書から見た 中甚兵衛の生涯」
平成24年3月24日～6月24日

(ウ)【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」をテーマに2ヶ月ごとに展示品を入れ替え。平成23年11～12月には鳥坂寺跡発掘調査の成果展を実施。平成23・24年の2月末から4月中旬にかけては、ひな人形を展示。

- a. 雛人形・雛道具(寄贈 1994-3)
平成23年3月～4月
- b. 風呂敷、布袋、醤油等のラベル(寄贈 2006-10)
平成23年5月～6月

c . 醤油等販売関係品（寄贈 2006-10）

平成 23 年 7 月～ 8 月

e . 小学校教科書（寄贈 2006-10）

平成 23 年 9 月～ 10 月

f . 鳥坂寺跡発掘調査成果展「再び灯る古代の光」、鴨尾・瓦等

平成 23 年 11 月～ 12 月

g . 日本地図・旅行案内・宝くじ（寄贈 2006-10）、火鉢（寄贈 2006-11）

平成 24 年 1 月～ 2 月

h . 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3）

平成 24 年 3 月～ 4 月

（エ）【文化財講演会】 定員 60～90 名

a . 平成 23 年 4 月 16 日（土）

「柏原のワイン、ここだけの話、ここだけの味」

講師 高井利三氏（カタシモワインフード㈱社長）

館長による展示解説

聴講者数 45 名

b . 平成 23 年 7 月 24 日（日）

「古墳時代中期の外交と軍事」

講師 田中晋作氏（池田市立歴史民俗資料館）

「百舌鳥・古市古墳群の魅力を探る」

講師 天野末喜氏（藤井寺市教育委員会）

聴講者数 76 名

c . 平成 23 年 7 月 31 日（日）

「馬をめぐる考古学」

講師 宮崎泰史氏（大阪府教育委員会）

「王権を支えた馬」

講師 野島 稔氏（四條畷市教育委員会）

聴講者数 58 人

d . 平成 23 年 11 月 13 日（日）

「日韓古代文化交流視察団・文化財報告会」

講師 石田成年（文化財課）、安村俊史（館長）

聴講者数 44 人

(オ)【市民歴史大学】 定員 100 名

年間テーマ「倭の五王の時代」(文化財講座例会と兼ねる)

a. 平成 23 年 8 月 13 日(土)

「倭の五王と手工業生産」

講師 一瀬和夫氏(京都橘大学教授)

聴講者数 97 名

b. 平成 23 年 9 月 4 日(日)

「倭の五王の東日本政策」

講師 高橋克壽氏(花園大学教授)

聴講者数 91 名

c. 平成 24 年 1 月 21 日(土)

「倭の五王はだれなのか」

講師 荊木美行氏(皇學館大学史料編纂所教授)

聴講者数 65 名

d. 平成 24 年 2 月 4 日(土)

「古墳から見た倭の五王」

講師 白石太一郎氏(大阪府立近つ飛鳥博物館館長)

聴講者数 111 名

(カ)【体験教室】

a. 平成 23 年 12 月 11 日(日) 定員 20 名

「しめなわを作ろう」 講師 横尾卓治氏(市内雁多尾畑在住)

参加者数 22 名

b. 平成 24 年 2 月 5 日(日) 定員 15 名

「わらぞうりを作ろう」 講師 横尾卓治氏

参加者数 18 名

(キ)【文化財講座】 年間 12 回 受講者数 64 名(定員 60 名)

年間テーマ「倭の五王の時代」

a. 平成 23 年 5 月 14 日 「倭の五王の時代」(講義・安村)

b. 平成 23 年 6 月 11 日 中期古墳を歩く・その 1・高井田山古墳
(講義と見学・安村)

c. 平成 23 年 7 月 9 日 「赤馬伝説」(講義と展示解説・安村)

d. 平成 23 年 8 月 13 日 市民歴史大学 a の聴講

e. 平成 23 年 9 月 4 日 市民歴史大学 b の聴講

f. 平成 23 年 10 月 9 日 中期古墳を歩く・その 2・古市～田辺(見学会)

- g . 平成 23 年 11 月 12 日 中期古墳を歩く・その 3・桜塚古墳群周辺
(見学会)
- h . 平成 23 年 12 月 10 日 中期古墳を歩く・その 4・宮山古墳と葛城古道
(見学会)
- i . 平成 24 年 1 月 21 日 市民歴史大学 c の聴講
- j . 平成 24 年 2 月 4 日 市民歴史大学 d の聴講
- k . 平成 24 年 3 月 10 日 中期古墳を歩く・その 4・河内大塚山古墳と黒
姫山古墳(見学会)
- l . 平成 24 年 3 月 24 日 「倭の五王とは?その時代とは?」
(講義とまとめ・安村)

(ク)【古文書入門講座】 年間 10 回 受講者数 21 名(定員 25 名)
国分村南西尾家文書の解読と解説
講師 小橋勇介(当館学芸補助員)
平成 23 年 5 月から平成 24 年 3 月まで 10 回開催。

(ケ)【博物館実習】

- a . 平成 23 年 8 月 20 日～28 日 実質 7 日間
大阪教育大学 4 名、阪南大学 1 名 計 5 名
内容 館内施設の説明と見学、考古資料の整理、民俗資料の整理、
文書史料の整理、写真の撮影・焼付け、スポット展示の実施
- b . 平成 23 年 12 月 3 日～11 日 実質 7 日間
大阪教育大学 4 名
内容 館内施設の説明と見学、民俗資料の整理、文書史料の整理、
鳥坂寺シンポジウム、文化財講座見学会、しめなわ作り

(コ)【中学校との連携】

- a . 平成 23 年 11 月 9 日～11 日 3 日間
職業体験の受け入れ 柏原市立玉手中学校 2 年生 3 名
内容 民具の整理、スポット展示の実施など

(サ)【高校・大学との連携】

- a . 平成 23 年 5 月 21 日 70 人
関西福祉科学大学 総合教養 (河内学) の学外体験学習。
「柏原の古墳文化」を安村が講義、その後 3 班に分かれて資料館・横穴公
園案内。

- b . 平成 24 年 11 月 6 日 9 人
 大阪市立大学と大阪市立咲くやこの花高校による高大連携事業に協力。
 高校生希望者による歴史フィールドワークで、資料館にて大阪市立大学
 岸本直文教授による講演の後、安村が資料館・横穴公園を案内
- c . 平成 24 年 11 月 29 日 60 人
 特別養護老人ホーム・大阪好意の庭にて、まぶね保育園園児を対象に、
 綿繰り体験の出前講座を実施。大阪教育大学との連携事業として、大阪教
 育大学イエローラインプロジェクト（Y・L・P）の授業の一環としても位
 置づけ。
- d . 平成 25 年 2 月 3 日 7 人
 大阪市立高等学校教育研究会社会科部会の研修会。資料館・横穴公園の
 案内と質疑等。

（シ）【資料調査・整理】

- a . 国分本町・西尾寛一家（南西尾家）文書の調査。
 b . 中家文書の整理、目録作成・刊行。
 c . 太平寺・西尾家ぶどう関係文書の調査。
 d . 大県・山崎家ぶどう関係文書の調査。
 e . 国分・堅山家の調査、資料寄贈。
 f . 国分村検地帳のデータ入力作業。
 g . マイクロフィルム撮影事業。平成 19 年度から実施し、23 年度は 2,000
 カットの撮影。柏原市古文書調査報告 2 『安尾家文書』終了。調査報告 3
 『小山家文書』に着手。

（ス）【所蔵・保管資料の貸し出し】

計 9 件

- a . 大阪府立近つ飛鳥博物館
 常設展示 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
 大県遺跡：鉄滓 6 点・韃羽口 7 点・砥石 2 点 計 15 点
- b . 太平寺地区
 太平寺会館にて智識寺の展示
 平成 23 年 7 月 15 日～19 日
 智識寺模型 1 組
- c . （財）松原市文化情報振興事業団
 平成 23 年度企画展「大和川付け替えと舟運」
 平成 23 年 9 月 7 日～10 月 31 日
 柏原船模型 1 点、剣先船模型 1 点 計 2 点

d . 個人

「ブラッと大阪柏原まち歩き」オプション企画、河内木綿綿繰体験で使用
平成 23 年 10 月 14 日～10 月 19 日

綿繰機 2 点

e . (財) 松原市文化情報振興事業団

平成 23 年度特別展「村相撲と河内十三組」

平成 23 年 10 月 26 日～12 月 28 日

河内十三組給金帳、感謝状 計 2 点

f . 個人

太平寺展（写真と模型でみる展示会）で展示

平成 23 年 11 月 18 日～11 月 19 日

智識寺模型 1 組

g . 個人

民謡研究の資料として使用

平成 23 年 11 月 24 日～12 月 28 日

カセットテープ「大阪府民謡緊急調査」 1 点

h . 大阪府立近つ飛鳥博物館

平成 23 年度冬季特別展「歴史発掘 おおさか 2011」で展示

平成 24 年 1 月 6 日～平成 24 年 4 月 4 日

鳥坂寺跡出土軒丸瓦 2 点、軒平瓦 1 点、線画のある平瓦 1 点、鴟尾 1 点、
施釉陶器・三彩 1 点、円筒埴輪 4 点、凝灰岩 1 点 計 11 点

i . 富田林市立小金台小学校

1 年生生活の学習で使用

糸車 1 点

(セ)【所蔵・保管資料の撮影等】

計 23 件

a . 個人

日本文化財科学会第 28 回大会研究発表要旨集に掲載、及び同大会口頭発表
スライドでの使用。

写真提供：高井田横穴群第 3 支群 5 号横穴線刻壁画 1 点

b . 個人

日本文化財科学会第 28 回大会・口頭発表スライドでの使用

写真撮影：高井田横穴群第 3 支群 5 号横穴線刻壁画等 5 カット

c . 合同会社・ジェイエンタープライス

韓国 M B C（文化放送）にてテレビ放映

テレビ撮影：高井田山古墳出土ガラス玉 5 連

- d．近畿日本鉄道株式会社
『近畿文化』第 741 号への掲載
写真提供：鳥坂寺跡の景観、鳥坂寺金堂跡の階段 計 2 点
- e．近畿日本鉄道株式会社
『近畿文化』第 741 号への掲載
図面転載：鳥坂寺跡平面図 1 点
- f．大阪府立近つ飛鳥博物館
平成 23 年度秋季特別展に伴う図録、広報資料等への掲載
写真提供：誉田御廟山古墳出土円筒埴輪 2 点、栗塚古墳出土円筒埴輪 2 点、
岡ミサンザイ古墳出土円筒埴輪 1 点（いずれも『赤馬伝説』に掲載）
計 5 点
- g．藤井寺市教育委員会
藤井寺市教育委員会編集の小学校 6 年生社会科副教材『ふじいでらの世界
遺産学習 百舌鳥・古市古墳群』に掲載
写真提供：大県遺跡の鉄鍛冶工房、玉手山古墳群全景空中写真、松岳山古
墳の石棺及び立石 計 3 点
- h．大阪府立弥生文化博物館
平成 23 年度秋季特別展「弥生文化のはじまり」における図録・広報資料へ
の掲載
写真掲載：船橋遺跡出土前期弥生土器 1 点
- i．柏原の郷土史を語る会
「2011 年・市民歴史講演会 畿内型横穴式石室の始まり・高井田山古墳」
開催に伴う「広報かしわら」・チラシへの掲載
写真提供：高井田山古墳横穴式石室 1 点
- j．個人
論文に掲載
写真掲載：当館所蔵在来犁 計 2 点
- k．(株)新泉社
シリーズ「遺跡を学ぶ」『紫金山古墳』に掲載
写真提供：松岳山古墳出土鱗付円筒埴輪、松岳山古墳石棺 計 2 点
- l．関西大学社会連携部地域連携センター
明日香村製作の小学生向け『石舞台古墳再現ムービー』副読本に掲載
写真掲載：安福寺割竹形石棺 1 点
- m．個人
神奈川大学常民文化研究所発行『民具マンスリー』への実測図掲載
実測図掲載：当館所蔵唐棹 1 点

n．個人

論文に掲載

写真掲載：当館所蔵在来犁 1 点

o．大阪府立近つ飛鳥博物館

平成 23 年度冬季特別展『歴史発掘 おおさか 2011』に伴う図録及び館内
パネル、パンフレット、ホームページなどの広報資料への掲載

写真提供：鳥坂寺塔跡雨落溝、鳥坂寺金堂跡基壇南辺と礼拝石 計 2 点

p．個人（資料所有者）

地籍調査

写真撮影・コピー：雁多尾畑絵図（寄託資料） 1 点

q．鳥坂寺保存会

サンヒル柏原等柏原市内数カ所における「鳥坂寺」展で写真パネル作製

鳥坂寺跡発掘調査等のデジタルデータ 計 8 点

r．個人

修士論文に掲載

写真提供：高井田横穴群第 3 支群 5 号横穴 5 点、同線刻壁画 1 点 計 6 点

s．大阪府立近つ飛鳥博物館

平成 23 年度冬季特別展『歴史発掘 おおさか 2011』の開催期間中の来館
者による写真撮影

写真撮影：鳥坂寺跡出土展示品 計 11 点

t．個人

往生院民具供養館発行の『民具歳時記』に掲載

写真掲載：当館所蔵駕籠 1 点

u．茨木市史編さん委員会

『新修茨木市史第一巻 通史 1』（平成 24 年 3 月刊行予定）に掲載

写真転載：松岳山古墳出土鱗付楕円筒埴輪（『松岳山古墳群の埴輪』より）

v．河合塾法務部著作権管理チーム

『日本史写真資料集』（平成 24 年 3 月 31 日刊行予定）に掲載

写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪

w．高槻市教育委員会

高槻市立今城塚古代歴史館開館 1 周年記念特別展に伴う展示パネル及び図
録・ホームページ等の広報媒体への掲載

写真提供：安福寺所蔵夾紵棺 3 点

(ソ)【所蔵・保管資料の調査・見学等】

16 件

a．個人

高井田山古墳出土鍔

b．学生（広島大学）

玉手山 1 号墳出土埴輪棺、安福寺横穴群南群 1 号横穴出土陶棺、安福寺横穴群西群 5 号横穴出土陶棺、玉手山東横穴群出土陶棺

c．個人（大阪市立大学）

茶臼塚古墳出土銅鏡 2 面、高井田山古墳出土銅鏡 1 面

d．個人

茶臼塚古墳出土三角縁神獣鏡 1 面

e．個人

高井田山古墳出土ガラス玉

f．個人（愛媛大学）他 3 名

大県遺跡出土銅・鉄関連遺物、田辺遺跡出土銅・鉄関連遺物、高井田山古墳出土鉄矛・熨斗

g．個人

韓式系土器

h．個人（韓国・慶北大学）

高田山古墳出土熨斗、大県遺跡出土韓式系土器

i．個人（愛知県埋蔵文化財センター）

大県遺跡出土鍛冶・鋳銅関連資料

j．個人 2 名（大阪府立近つ飛鳥博物館）

鳥坂寺跡出土資料

k．個人（（財）松原市文化情報振興事業団）

河内十三組関係資料

l．個人

堅山家史料

m．個人

茶臼塚古墳出土鍬形石・車輪石・石釧

n．個人

雁多尾畑絵図

o．学生（大阪大学）

柏元家文書

p．学生（大阪大学）

玉手山 9 号墳出土埴輪・土師器

(タ)【寄贈資料】	計 11 件
a . 吉村長策像、吉村長策色紙	計 2 点
b . 船橋遺跡出土資料	計 18 点
c . 『天下の霊峰 金剛山』『大政翼賛 錬成教典』	計 2 点
d . 智識寺模型	計 7 点
e . 軍用手票 (拾圓)	1 点
f . 石鏃、鉾石	計 16 点
g . 石造物の拓本	計 17 点
h . 古文書、扇子、短冊、地図、写真・ネガ、ランプ、行燈、五月人形、燭台、二又ソケット、歯ブラシ、屏風	計約 2,300 点
i . 鬼瓦	1 点
j . 写真	計 6 点
k . 大福茶碗	2 点

(チ)【寄託資料】	計 3 件
a . 国分本町・南西尾家文書 (平成 24 年 3 月 31 日まで)	約 7,500 点
b . 今町・寺田家文書 (平成 23 年 7 月 16 日～24 年 7 月 15 日)	数百点
c . 中家文書 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)	900 点

(ツ)【刊行物】	
a . 『赤馬伝説』 一部カラー32 ページ、平成 23 年 7 月発行	
b . 『柏原市立歴史資料館館報』第 23 号・2010 年度 66 ページ、平成 23 年 9 月発行	
c . ゴンドラ第 8 号 4 ページ、平成 23 年 9 月発行	
d . 『中家文書目録』 68 ページ、平成 24 年 3 月発行	

(テ)【市民歴史クラブ】 会員 18 名

資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。平成 23 年度は、智識寺の伽藍模型を市内数カ所で展示。夏季企画展開催中に田辺廃寺の伽藍模型・パネル展示・解説。その後、田辺廃寺伽藍模型は、春日神社に寄贈された。また、鳥坂寺の伽藍模型を作製し、12 月 4 日のシンポジウムの際に展示。その後も市内各所で展示。また、冬季企画展見学小学生の「なわなない」体験の準備や補助、横穴公開の解説などにもボランティアとして協力。

(ナ) 高井田文化教室「柏陽庵」利用状況

5人以上の一般の貸室と定期的なクラブ等の団体への貸室とに区別して有料で開放。茶道・華道・箏曲・俳句・川柳・短歌・詩吟・和裁・押し花・ビーズ工芸・将棋・学生のクラブなどの文化活動の場として利用を呼び掛け。

利用者は、平成21年度に1,949人まで減少したが、その後、増加しており、23年度は2,376人の利用者があった。クラブ利用者が増加の傾向にある。

今後は、材料費程度の料金で史跡公園来園者へのお茶の接待などを検討している。

柏陽庵利用状況

平成23年4月～平成24年3月

月別	クラブ利用者	一般利用者	合計	月別	クラブ利用者	一般利用者	合計
4月	118	280	398	10月	71	0	71
5月	117	100	217	11月	95	0	95
6月	71	60	131	12月	64	180	244
7月	135	180	315	1月	71	200	271
8月	49	0	49	2月	79	0	79
9月	82	180	262	3月	64	180	244
				総計	1,016	1,360	2,376

(2) 横穴管理運営関係

平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの事業報告。

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- | | | | |
|---|----|----------------------------------|-------|
| a | 春季 | 5 月 21 日 (土) 午前 10 時 ~ 午後 3 時 | 151 名 |
| b | 秋季 | 10 月 15 日 (土) 午前 10 時 ~ 午後 3 時 | 69 名 |
- 市民歴史クラブの方々が参加・協力。(a : 横穴見学ガイド、 b : むかし体験 / 火おこし、古代服試着、縄ない、ひょうたん絵付け)

(イ) 【横穴公園等案内】

史跡見学会等における高井田横穴の案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第 3 支群 5 号横穴の経過観察を定期的実施 (毎月)。温・湿度観測、目視、写真撮影、他
- b 横穴公園内景観の維持管理。
枯木等の伐採、他
- c 文化庁が実施した「装飾 (彩色壁画・線刻壁画・彫刻等) をもつ国指定の古墳・横穴の保存・管理状況の実態調査」に協力。

(エ) 【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催 (8 月 11 日、2 月 29 日)
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定 (平成 23 年 9 月 23 日)
有形文化財・安福寺所蔵夾紵棺 (浄土宗安福寺)

2 平成 24 年度事業計画

(1) 歴史資料館関係

平成 4 年 11 月 7 日に開館した当館は、今年で 20 周年となる。そこで、夏季企画展を開館 20 周年記念企画展と位置づけて開催するほか、市民歴史クラブとともに、府立中央図書館での出張展示などを計画している。

(ア)【常設展示】

開館 20 周年となるため、リニューアルを検討中。
資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え。
中家文書を入れ替えながら展示。

(イ)【企画展示】

- a. 開館 20 周年記念・鳥坂寺跡国史跡指定記念企画展「鳥坂寺再興」
平成 24 年 7 月 14 日(土)～9 月 9 日(日)
- b. 「水を治める―つけかえ工事と水制―」
平成 24 年 9 月 25 日(火)～12 月 9 日(日)
- c. 「ちょっと昔の道具たち―昔話のある風景―」
平成 25 年 1 月 6 日(土)～3 月 3 日(日)
- d. 「河内大橋」
平成 25 年 3 月 23 日(土)～6 月 23 日(日)

(ウ)【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」
最近の寄贈資料を 2 ヶ月ごとに展示替え

(エ)【文化財講演会】

- a. 平成 24 年 7 月 22 日(日)
講師 古閑正浩氏(大山崎町教育委員会)
講師 網 伸也氏(京都市埋蔵文化財研究所)
- b. 平成 24 年 7 月 29 日(日)
講師 竹内 亮氏
講師 若井敏明氏

(オ)【市民歴史大学】

「古代寺院と仏教」をテーマに4回の特別講演会を開催（文化財講座例会を兼ねる）。

a．平成24年8月11日（土）

講師 森 明彦氏（関西福祉科学大学教授）

b．平成24年9月8日（土）

講師 大脇 潔氏（近畿大学教授）

c．平成25年1月12日（土） 予定

d．平成25年2月9日（土） 予定

(カ)【体験教室】

a．「しめなわを作ろう」定員20名

平成24年12月2日（日）

b．「わらざうりを作ろう」定員15名

平成25年2月3日（日）

(キ)【文化財講座】

テーマ「古代寺院と仏教」

募集人数 定員60名 受講者数61名

日 時 原則として毎月第2土曜日 年間12回の予定

参加費 年間2,000円

平成24年

5月12日 「古代寺院と仏教」（講義・安村）

6月9日 河内六寺（講義と見学・安村）

7月14日 「鳥坂寺再興」（講義と展示解説 安村・山根）

[開館20周年記念公開講座]

8月11日 市民歴史大学a（特別講演会）

9月8日 市民歴史大学b（特別講演会）

10月13日 夏見廃寺（見学会）

11月10日 海会寺（見学会）

12月8日 枚方（見学会）

平成25年

1月12日 市民歴史大学c（特別講演会）

2月9日 市民歴史大学d（特別講演会）

3月9日 土塔（見学会）

3月23日 「古代寺院と仏教」まとめ（講義・安村）

(ク)【古文書入門講座】

テーマ「近世の国分村」

募集人数 成人 25 名 受講者数 27 名 参加費 年間 1,000 円

日 時 原則として毎月第 3 土曜日 10 回の予定

(ケ)【博物館実習】

平成 24 年 8 月 23 日(木)～31 日(金)

6 名程度の受け入れ予定(武庫川女子大学、近畿大学ほか)

(コ)【調査・整理】

- a. 国分本町・南西尾家文書の目録作成
- b. 今町・寺田家文書の調査・整理
- c. 国分本町・堅山家文書の調査・整理
- d. マイクロフィルム撮影事業。調査報告 3 『小山家文書』の撮影
- e. 国分村・検地帳の入力作業

(サ)【所蔵・保管資料の貸出等】

これまでと同様に、積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となる。

(シ)【寄贈・寄託】

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(ス)【予定刊行物】

- | | |
|------------------------|-----------------|
| a. 夏季企画展図録『鳥坂寺再興』 | 平成 24 年 7 月刊行予定 |
| b. 『柏原市立歴史資料館館報』第 24 号 | 平成 24 年 9 月刊行予定 |
| c. 『ゴンドラ』第 9 号 | 平成 24 年 9 月刊行予定 |
| d. 『河内大橋』 | 平成 25 年 3 月刊行予定 |

(セ)【市民歴史クラブ】

夏季企画展に鳥坂寺の伽藍復元などで展示参加の予定。

秋に、府立中央図書館にて開館 20 周年記念事業の一環として、当館と共催で、鳥坂寺の展示を計画。

(ソ)【高井田文化教室（柏陽庵）】

クラブ登録をした団体には利用料金を半額とし、期日前の申し込みを可能としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。希望クラブによる有料のお茶席を実施予定。

(2) 横穴管理運営関係

平成24年4月から平成25年3月までの事業予定。

(ア)【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月19日(土)午前10時～午後3時
市民歴史クラブの方々が参加・協力予定。
- b 秋季 10月20日(土)午前10時～午後3時
市民歴史クラブの方々が参加・協力予定。

(イ)【横穴公園等案内】

資料館と調整を図り、地域の歴史と自然に親しめる公園として、多くの方々に見学していただけるよう努める。

(ウ) 維持管理

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。
- b 横穴公園内景観の維持管理。
- c 第3支群5号横穴については、特別公開においても、平常と同様に入口扉のガラス越しに見学してもらう予定。

(エ)【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)。
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定。

3 その他

(1) 周辺館へのアンケート結果について

平成 23 年度歴史資料館等運営協議会の際に、当館に対する行政評価委員会の施策評価結果について報告した。それに対して、評価が不当に低いのではないかという意見が各委員から出された。その評価結果を検証するためには、周辺他館の現状を把握・分析しておくことが必要ではないかとの提言に基づき、周辺館へのアンケートを実施した。アンケートの内容は、入館料、入館者数、各施設の規模、職員体制、展示・普及活動など各種事業の実施状況などである。アンケートは中・南河内と香芝市に所在する博物館・資料館 12 館に依頼し、11 館から回答を得た。詳細は別紙参照。

(ア) 入館者数

府立近つ飛鳥博物館の 10 万人を除くと、2 万人近くの入館者があるのは松原市ふるさとびあプラザと当館だけである。なお、松原市は複合施設であり、入館者数に貸館の利用者等も含まれており、資料館のみの見学者数は把握していないとのことである。そのほかの館は、5 千人～1 万人で当館の入館者数が突出していることがわかる。

(イ) 職員体制

各館さまざまであるが、学芸員資格を有する職員（嘱託を含む）3～5 名の施設が多い。

(ウ) 運営形態

直営が当館を含めて 5 館、指定管理者が 6 館。

(エ) 企画展等

当館と同様に、年 4 回程度実施している館が多い。それらの館の学芸員は 3～5 名配置されている。

(オ) 普及事業

講座・講演会は、各館とも積極的に実施されているが、参加人数で当館を上回るのは香芝市と近つ飛鳥だけである。

(カ) 刊行物

当館では年 3 冊の刊行物と広報紙を刊行しているが、当館を上回るのは近つ飛鳥だけである。

総括

当館は、入館者数だけでなく、展示や各種事業の実施においても周辺館で府立近つ飛鳥博物館に次いで活発な事業を実施していると言える。他館の体制から考えると、当館の事業内容は、学芸員が 5 人前後配置されている施設の事業内容と同等といえるのではないかと。

(2) 有料化に対する来館者アンケート結果について

検討課題となっている入館料の有料化について、先述の周辺館の現状を把握するとともに、来館者に対してアンケートを実施した。アンケートは春季企画展・夏季企画展の開催中に実施した。詳細は別紙参照。

(ア) 周辺館の現状

アンケートに回答のあった 11 館中、5 館が無料、6 館が有料。有料館の入館料は、一般で 50 ～ 300 円である。この中で 2 館が無料化を検討・要望しているということである。

(イ) 来館者アンケートの結果

100 人の来館者から回答を得た。

その結果、有料化するべき 13 人、条件付きで有料化 27 人、無料を維持するべき 49 人であった。

無料を維持するべきという意見がもっとも多く、有料化賛成の方の多くは、その収入を資料館の事業に充てること、企画展や施設の充実を図ることなどを条件としてあげている。現状のままで有料化を認める人は少ない。

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏 名	備 考
1	木 下 百合子	大阪教育大学教授
1	塚 口 義 信	堺女子短期大学名誉学長・名誉教授
1	綿 貫 友 子	大阪教育大学教授
2	荻 田 耕 司	柏原市校園長会・柏原市立国分小学校校長
2	梶 川 哲 郎	大阪府立柏原東高等学校校長
3	今 西 美和子	市民代表
3	長 尾 一 吉	市民代表
3	蓑 原 正	市民代表

平成26年3月31日まで

* 数字は設置要綱第4条1号、2号、3号委員を指す。

* 名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。